

様式2の付表

○事業を実施した結果、教育的効果（生徒の取組み等）の状況

目詰まりしていた汚れは、高圧洗浄機とデッキブラシを用いても取り除きにくく、衛生が保たれていないことが顕著となり、動物飼育の環境として最適ではないことを実感した。

箒仕上げという左官技術を学べただけでなく、牛の蹄の状態を維持管理できるということも理解できた。打設を生徒自ら行うことで、今後の掃除のしやすさだけでなく、牛の健康管理向上にも繋がることを実感し、達成感を得ることができた。

○事業を実施する上での問題点

多くの生徒が学習する機会となるが、本事業への応募が多く、一つの団体の補助金額が縮小されてしまった。そのため今回のように大がかりの作業を実施するには、限られた予算内で協力してくれる技術者を探すのに時間を要した。

○今後、本事業に要望すること

本事業のおかげで、普段学習することのできない分野を学ぶことができたとともに、衛生を十分に考慮した環境を整えることができ、感謝しております。来年度も生徒が多くを学べる機会を設けて下さることを要望いたします。



行程1；溝に貯まった汚れの取り除き



行程1；高圧洗浄機を用いている様子



行程3；展着材の塗布



行程3；樹脂モルタル打設の様子